

# 令和5年度 第1回伊勢崎市総合教育会議

## 次 第

日 時 令和5年5月12日（金）  
午後2時00分～  
場 所 市役所東館5階第4会議室

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 署名委員の指名
- 5 報告事項  
(1) 令和5年度 重点政策の概要について
- 6 協議事項  
(1) 部活動の地域移行について  
  
(2) 日本語教育について
- 7 その他
- 8 閉 会

**令和5年度 当初予算**

# **重点政策の概要**

**『いせ咲く。』**

**～共に歩む 未来創生都市～**

**— DX・GXによる**

**令和新時代の共生社会を目指して —**

# 令和5年度 当初予算額

対前年度

+ 3.3%



803億 1,700万円

# 当初予算規模

一般会計 803.2億円

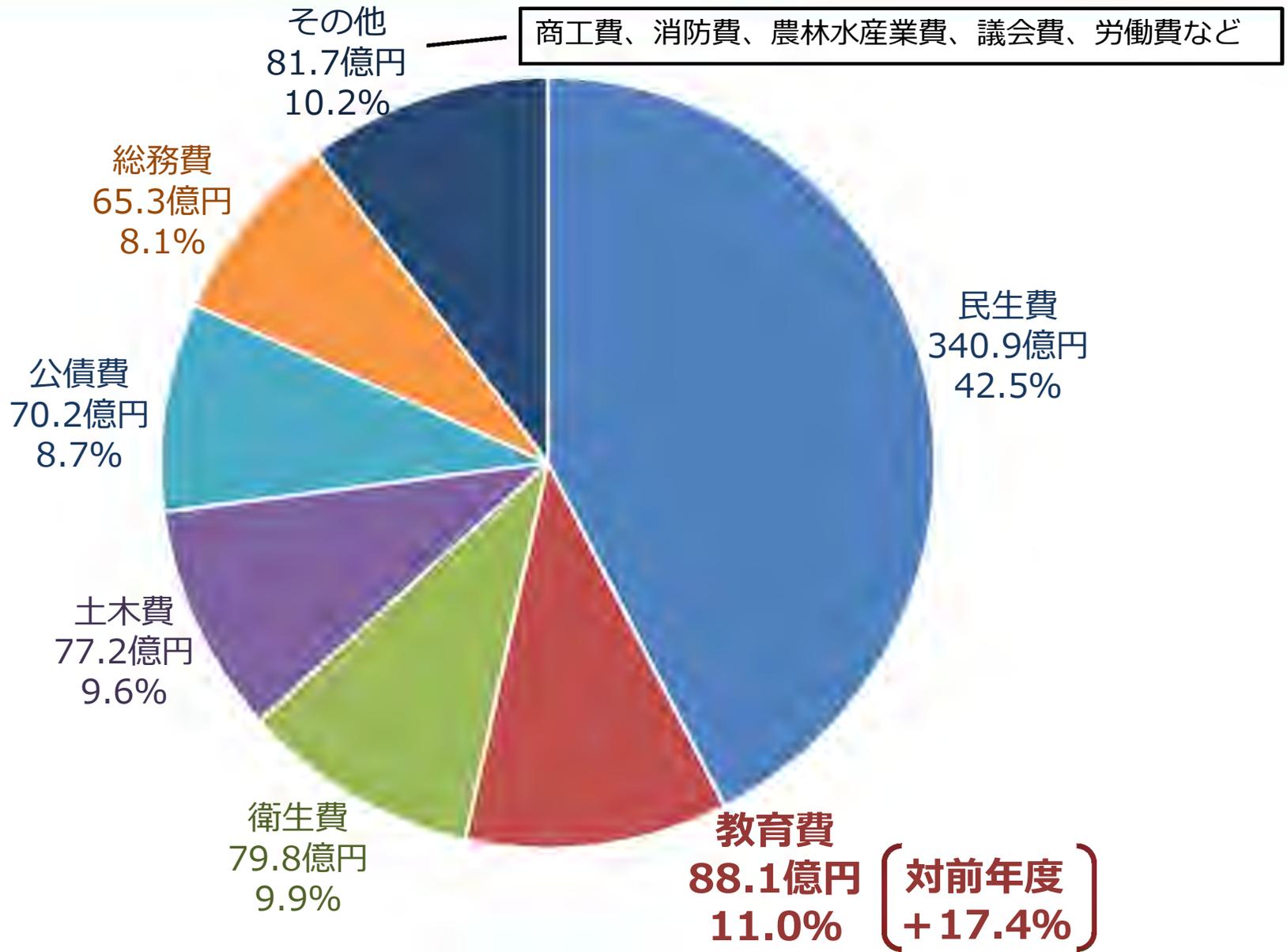
特別会計 683.0億円

企業会計 343.2億円

合計 1,829.4億円

※1千万円未満を端数処理しています

# 歳出予算の概要（目的別）



# 総合計画 基本政策

1. 市民が健康で生き生き暮らせるまちをつくる
2. 市民と産業を支える力強いまちをつくる
3. 市民が安心してやすらかに暮らせるまちをつくる
4. 市民が自ら学び豊かな心を育むまちをつくる
5. 市民と協働して自立したまちをつくる

# 1. 市民が健康で生き生き 暮らせるまちをつくる

健康・医療

福 祉

# 健康・医療

1. 市民が健康で生き生き暮らせるまちをつくる

## 福祉医療の充実

8,190万円

### 福祉医療の支給対象を拡充

#### <対象者>

中学3年生まで

➡ 高校生世代まで

※令和5年10月から適用



福 祉医療費受給資格者証	
公費負担者番号	
受給資格者番号	
受給住所	
名	
月日	
期間	
発関名	群馬県
印	伊勢崎市
年月日	

申請者の方の入居時医療費標準負担額の助成について  
標準負担額の減額にかかる認定を受けていることの確認が  
必要（減額認定証の提示又は電子的確認）に限り、助成を受け  
ることができます。

## 里親委託児童への支援

80万円

### 里親家庭で暮らす子どもの自立を支援

#### <事業内容>

- ・ 自立生活支度金の支給 20万円
- ・ 自動車運転免許の取得支援  
教習所で要する費用の支援



## **2. 市民と産業を支える 力強いまちをつくる**

**都市基盤**

**産業・観光**

### 地場産農産物の利用促進

190万円

地産地消・ブランド化の推進、  
伝統食文化の伝承 等

#### <事業内容>

- ・ 地産地消のPR活動
- ・ いせさきブランド農産物の推進
- ・ 学校給食への地場産農産物の利用拡大 など



# 3. 市民が安心してやすらかに 暮らせるまちをつくる

安心安全  
環境

# 安心安全

3. 市民が安心してやすらかに暮らせるまちをつくる

## 防犯カメラ設置箇所の拡充

5,520万円

小中学校や通学路、犯罪・不審者情報の多い場所等に防犯カメラを増設



### 防犯対策の強化

#### <事業内容>

- ・ 小中学校に設置された防犯カメラの更新及び増設
- ・ 通学路、犯罪・不審者情報の多い場所等への防犯カメラ・防犯カメラ内蔵LED防犯灯の増設



# 4. 市民が自ら学び豊かな 心を育むまちをつくる

## 教 育

生涯学習・スポーツ・文化

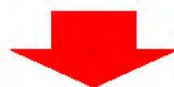
# 教 育

4. 市民が自ら学び豊かな  
心を育むまちをつくる

## 学校給食賄材料費への公費補てん

# 1億6,610万円

### 賄材料費高騰分について公費により補てん



### 学校給食を安定的に提供

**<事業内容>**

児童・生徒1人当たり  
年間1万円を補てん



## 外国籍児童生徒等への教育支援

5,350万円

日本語の習得支援、学習支援、生活支援

### <事業内容>

- ・ 学校生活支援助手の派遣
- ・ 子ども日本語教室未来塾と連携



# 教 育

4. 市民が自ら学び豊かな  
心を育むまちをつくる

## 中等教育学校の運営

5億6,580万円

### 四ツ葉学園中等教育学校の特色ある教育を推進

#### <教育理念>

『未来に、そして世界にはばたく高い知性と  
豊かな道徳性をもつ教養人の育成』

#### <事業内容>

6年間の一貫教育の利点を生かした  
キャリア教育・グローバル教育の実施など



# 文化芸術大会等出場者への奨励金交付

## 100万円

全国規模の文化芸術コンクール等に出場する  
個人または団体へ奨励金を交付

### <交付内容>

- ・ 他市で開催されるコンクール等に出場  
団体5万円、個人1万円  
※本市で開催の場合は、上記の1/2



## 不登校児童生徒への教育支援 4,820万円

### 不登校児童生徒の支援に関わる適応指導教室の整備

#### <事業内容>

#### 旧豊受幼稚園の改修

- ・ 外構工事
- ・ 電気機械設備工事



## 豊受公民館の整備

4,380万円

### 老朽化した豊受公民館を新築

#### <事業内容>

令和5年度	設計業務委託 造成工事
令和6年度	建設工事
令和7年度	利用開始予定



## 小中学校の屋外にAEDを設置 740万円

学校配備のAEDを地域住民等も利用可能とします

### <事業内容>

全ての小中学校の屋外に  
AED収納ケースを設置



## 世界文化遺産の整備活用

5,250万円

田島弥平旧宅とその周辺地域の環境整備を実施



史跡及び世界遺産としての価値の保存、活用

### <事業内容>

桑場整備に向けた全体基本設計  
の追加調査 など



## 市史の編さん

1,000万円

合併以降、初の自治体史を編さん



郷土に対する理解と愛着を形成

### <事業内容>

専門知識を有する委員で構成する  
委員会を設置し、市史の編さんを  
引き続き実施



# 5. 市民と協働して 自立したまちをつくる

協働・共生

行財政

## 外国人集住都市会議への参加

80万円

### 外国籍住民との共生の街づくりの推進

#### <活動内容>

外国籍住民が多い他の自治体とともに  
課題解決に向け、情報交換や調査研究  
を実施

#### <令和4年度活動実績>

- ・ 正式加入
- ・ 外国人集住都市会議  
「おおいずみ2022」に参加



## 外国人総合相談窓口の設置

710万円

言語の壁がある外国籍住民に対し、  
生活上の相談や様々な情報提供を行います

### <相談員対応言語>

ポルトガル語、スペイン語、英語、  
タガログ語、ベトナム語  
(その他の言語は  
音声自動翻訳機で対応)



## DXの推進

1億2,190万円

DX（デジタルトランスフォーメーション）を  
推進するため、様々な事業を展開

- ・ DX推進アドバイザー
- ・ 電子地域通貨基盤の整備
- ・ マイナンバーカードの普及促進
- ・ 行政キオスク端末の設置



## 第3次伊勢崎市総合計画の策定 1,170万円

長期的視点に立った総合的かつ計画的なまちづくりの  
指針として新たな総合計画を策定

### <事業内容>

- 令和5年度 基礎調査、長期ビジョン（基本構想）  
の素案づくり など
- 令和6年度 長期ビジョン（基本構想）・  
アクションプランの策定



## オートレース事業から一般会計への繰出し 3億円

収益金の一部を一般会計に繰出し

### <収益活用事業>

- ・ 小中学校のICT教育
- ・ 小中学校施設整備 など

### <繰出し実績>

令和4年度 3億円

令和3年度 3億円



## G Xの推進

経済産業省がいうGXとは…

「脱炭素社会の実現に向けた取り組みを通し、経済社会システム全体の変革を目指す」

伊勢崎市のGXとは…

「広く環境に視点を合わせた変革」

= “いせさきGX”

⇒費用対効果だけで事業を決めるのではなく、「環境」というふるいにかけて、あらゆる施策を進めてゆく

### 保健所政令市への移行を目指す

#### <検討に至った経緯>

感染症の拡大防止には、確かな情報に基づき迅速かつ適切な対応を行うことが必要不可欠

⇒保健所との情報連携の必要性、重要性

#### <検討の経過>

昨年8月から庁内で検討

⇒市が一元的に保健所業務を行うことの意義は大きい

#### <今後の取組>

検討を一步進めて、県との協議・調整等、更に詳細な調査・検討を深めていく

### 区長会事務に係る窓口を公民館へ統一

支所で行っていた区長会に関する事務の取り扱いを  
公民館に変更

**<令和4年度まで>**

旧市・・・各公民館

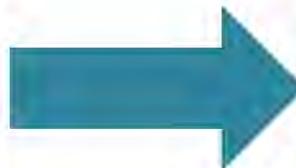
赤堀地区・・・赤堀支所

東地区・・・あずま支所

境地区・・・境支所

で取り扱い

各公民館に  
市長部局の  
職員を配置



**<令和5年度から>**

旧市・・・各公民館

赤堀地区・・・赤堀公民館

東地区・・・あずま公民館

境地区・・・境公民館

で取り扱い

# 市政運営



共に創る、共に生きる

「世代間の共生」

「地域間の共生」

「SDGs による共生」

# 伊勢崎市総合教育会議

部活動の地域移行について

日本語教育について

# 部活動の地域移行について

人間関係

自己肯定感

意欲の  
向上

部活動

生徒  
理解

保護者の  
信頼

愛校心  
一体感

# 部活動の地域移行について

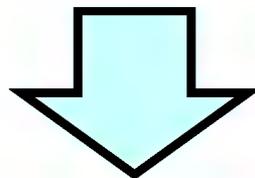
長時間労働

指導者確保

生徒数  
減少

部活動

活動  
多様化



地域移行

# 部活動の地域移行について

スポーツ庁提言 (R4.6.6)

文化庁提言 (R4.8.9)

- 休日の部活動から段階的に地域移行していく
- R5の開始からR7を改革集中期間とする
- R8以降も進捗状況を検証し、更なる改革を推進
- 地域におけるスポーツ、文化芸術に触れる機会の確保、  
多様なニーズに合った活動機会の充実
- 地域団体等と学校との連携・協働の推進

# 部活動の地域移行について

## 伊勢崎市部活動地域移行検討委員会

令和4年度検討委員会委員9名

# 部活動の地域移行について

## 検討委員会において挙げられた課題

### ○活動場所の問題

- ・学校施設や市運動施設、公民館等の利用

### ○指導者の問題

- ・関係団体の指導者の協力
- ・教職員の兼業兼職申請
- ・地域指導者、大学生の活用

### ○財源の問題

- ・運営費の確保
- ・伊勢崎市としての予算措置
- ・地域企業との連携

# 部活動の地域移行について

小学校5・6年生の保護者様  
中学校・中等教育学校保護者様  
学校・地域関係者様

子供たち一人一人の願いやニーズに応じた  
スポーツ・文化芸術活動に向けて  
中学校・中等教育学校前期課程の部活動を  
段階的に地域に移行します

伊勢崎市部活動地域移行の考え方・方向性

自分の「やりたい」を実現できる

活動の「楽しさやよさ」を味わえる

自分の「居場所」がある

R5

モデル(地域、運動部)の  
施行

R6

モデル(地域、運動・文化部)の  
拡充

R7 8 9 . . .

休日部活動移行(地域、運動・文化部)の  
推進

R7以降も、よりよい  
伊勢崎市の部活動の在り方  
について検討していくよ



## なぜ、部活動の地域移行を進めるの？

○「入りたい部がない」「自分のペースで楽しみたい」「もっと上手になりたい」など、多様なニーズに対応する

# 部活動の地域移行について

参考資料（市内中学校及び中等教育学校前期12校）

生徒数…………… 5,880人（R5.5.1時点）

運動部活動数… 203部

文化部活動数… 41部

部活動指導員… 14名（R5.5.1時点）

外部指導者…… 32名（R5.5.1時点）

※昨年度の中体連新人大会では、8校、11部活動が、登録人数が足りずに合同部活動として大会に参加

# 日本語教育について

外国籍児童生徒数… 1,222人 (R5.5.1 暫定値)

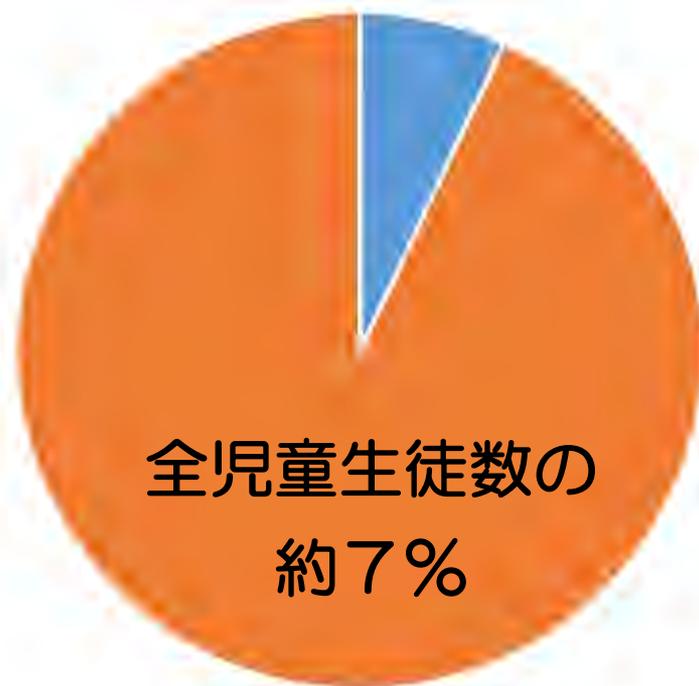
市内全児童生徒数の約7%

県内外国人児童生徒

(R4:3,519人)の約3割

指導が必要な

外国籍児童生徒数… 509人 (R5.5.1 時点)



# 日本語教育について

## つながる・ひろがる ISESAKI ステップ

Intercultural **S**pecial needs **E**ducation  
for **S**chool **A**nd **K**indergarten children  
of **I**sesaki city



# 日本語教育について

## 日本語ステップ

### (1) 子供のことばの力を見取るための共通指標

- ・2つの力（日常会話の力、学習活動に参加する力）
- ・7つのステップ（ステップ1：初めて日本語に触れる～）

### (2) 在籍学級での支援方法を考えるヒント

- ・子供の「ことばの使用例」
- ・教員の「支援例」
- ・「個別の指導計画」作成に活用

### (3) 使いながら改善していく発展的なツール

- ・使用者による継続的な見直しと更新が必要

# 日本語教育について

## ○初期適応指導（小学校4校）

・入学手続き及び学校生活での必要な指導を5日間重点的に行う。

## ○拠点校指導（小学校8校、中学校2校）

・通学区を緩和して籍を移して、日本語教室において、より徹底した指導を行う。

## ○日本語教室（小学校12校、中学校5校）

・県費加配教員を日本語担当教員として配置し、入り込み指導や取り出し指導等の充実を図る。

## ○巡回型日本語指導コーディネーター（2名）

・日本語教室未設置校を巡回し、指導体制の構築、改善、充実を図る。

## ○外国籍児童生徒学校生活支援助手（31名）

・外国語に堪能な会計年度任用職員が、通訳、学習支援、教育相談、保護者との連絡等の支援を行う。

# 日本語教育について

## 子ども日本語教室未来塾

○小中学校に在籍する外国籍児童生徒等に対して、  
土曜日に日本語指導及び教科学習等の支援を行う。

※小学生、中学生毎に、1回2時間、年間38回実施

R4の小学生のべ参加数…450人

R4の中学生のべ参加数…268人

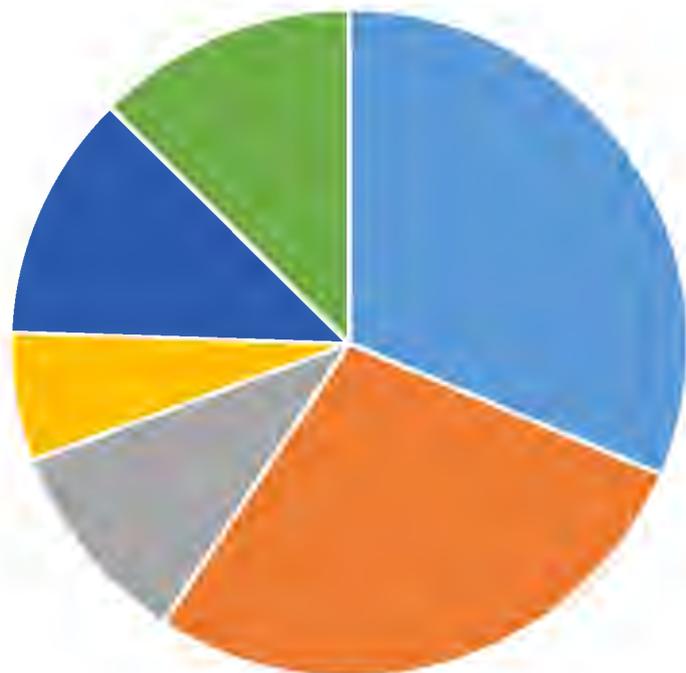
○小学生は基礎学力の向上を、中学生には学力向上  
に加え進学支援を実施する。

○児童生徒が円滑に教育環境に適應できるよう、日  
本語指導や教科学習の支援等に関する状況を在籍  
校と情報共有し連携を図る。

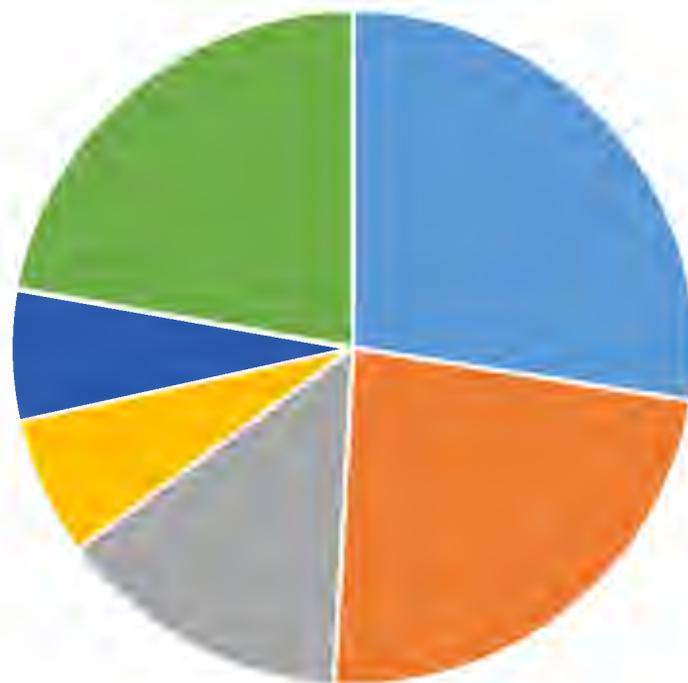
# 日本語教育について

言語別の日本語指導を必要とする児童生徒数の割合

H30.5.1



R5.5.1



- ポルトガル
- スペイン
- ベトナム
- 英語
- タガログ
- 他

5年前と比較し、ベトナム語と、他に含まれるウルドゥー語の増加が顕著で、多言語化が進んでいる。

# 日本語教育について

## 参考資料

日本語指導が必要な児童生徒数 H30 … 417人  
R5 … 509人

## R5における日本語指導が必要な児童生徒数

ポルトガル語	…	140人(28%)
スペイン語	…	119人(23%)
ベトナム語	…	71人(14%)
英語	…	34人(7%)
タガログ語	…	32人(6%)
ウルドゥー語	…	31人(6%)
ベンガル語	…	25人(5%)